

# 令和4年度予算に対する各会派の意見

## 政友会

コロナウイルス感染症対策を最優先とし、安心・安全な市民生活を優先課題とした第2次古河市総合計画に基づく「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」の実現、少子化による人口減少に対し子育て支援の強化等、魅力あるまちづくりを期待できる予算であり、賛成する。

渡邊 澄夫	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	鈴木 隆

## 古河市公明党

新型コロナ感染症の収束が見えない中、行政サービスの充実と市民の安心安全を優先した予算編成となった。当会派からの要望施策である①イングリッシュキャンプの充実②多機関協働による重層的支援事業③フレイル予防④ブロック塀の安全対策等が盛り込まれ、市民生活に密着した予算配分であり、予算に賛成する。

高橋 秀彰	佐藤 稔
鶴見久美子	渡辺 松男

## 真政会

令和4年度予算は、コロナ禍にあるものの、法人市民税などの大幅な回復により税収増が見込まれる。歳出では、コロナ対策に万全を期す予算となっており、地域共生社会の実現や健康増進、商工観光の振興、都市基盤整備、教育などあらゆる面で新規事業に取り組み、また、拡充するなどの工夫がみられるため賛成する。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

## 市民ベースの会

歳入は今後の税収微増見込みから自治体独自の方策が課題となる。ネーミングライツ事業において、修繕や維持管理も考慮した命名権設定や付加価値の創出を望む。

歳出は誰一人取り残さない取り組み（重層的支援体制）構築にあたり、狭間二ズのアセスメントおよび横断的な事業取り組みを望む。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

## 会派に属さない議員

令和4年度予算は、昨年度同様のコロナウイルス感染症対策の他、歳入増の部分を適正に予算編成されていると考えるが、今後の補正では第7波への対策費の充実を望む。

小山 高正

重層的支援体制整備事業など評価できる。人材養成を強化し、丁寧で効果的な支援体制を期待する。総和地域交流センターの建て替えでは、幅広い市民の声を反映させるよう要望する。

古川 一美

新型コロナ感染症対策は、国・県の補助金活用で進められているが、県の筑西幹線道路建設および古河駅東部土地区画整理事業、新産業用地建設と開発優先の新年度予算に反対。

秋庭 繁